







富河家藏本

醫業家譜元起第卷四

月錄

高三百三五一人

高四百俵

高月俸百日

高五百石

高二百俵

高三百俵

高月俸五日

有美 長 信 好 道 好





490.28 I No. 2276 12 j 111



賞±川文章



高五百石

河野松卷

回を死したら年中ら何野四角通信のサーンろ りなりまするとともてくるのりまする 新美国港で中島になるとかまり世の後ろり 河野行のといかは路出回きるある子をでうるをあ あるろけるよは移行因とてうれるほけんせいうちる 河野中八孝雷天皇子後多了了教智と此了人 りんの後今色かろうところの字をあるいろうう

を使うるかられ信息とるかられてんとけ野なるとろ 大敵ろうけっとうちゃってきるときはるんでうりょうできてつく 宝庙院的代传中とうではなるるのでを見る手 宝面院教内也多行は了いれるでありるては与たとろう きつころなりまするりの一を地手を中かりで 事社とおしちまれるかりれたりしろうならいろうかと 要はるちて はけられるようとうれけれる 年信之后後とうされるるめる年 はをけるりたっ大多の 生子を初門後奏達をする情中に係るるななくりり 了之愛るる。他でで一又的信事とは~今天 はるりる気をしろりの年を申ける

は後いおも見けをきぬはるりようしちかなってといっ 大敵了過見了了多多名手はるかぞ又打事院了時人的が 殿を付する人のほとまたの ひんして一きますなれんりょくしたし

教有るれらける侍愛とろうできる子子をからから なくなるとすであれてしまったる海を走をすりれ こったくちゃしくないとうとればあるいとあるよ るとははありるであれるを通べるいっきくる事でときて らほるとうはるとえるほかとしてはるちのととうし

出有了了的一下了是要要生年之事化于一个了了又爱的传统

きるとはいしせくれるながとういってはあり るのとてというのではならとろうとろうとうころと 和一はちかあていれるならで後とれているる

有傷るれのははいるとうろうれはいとろうとくちもつくるる 通信というないまするまですらう又をは見ちるから こうなる年ははれてりのかきしいれい強を是をする 世をりてしてもっれりるからりてけてるなるのとをにして 多とはきまるとろのとうか後りまるとのをにとうか ろうとり七年をきれてからうとはれるといろろとう 奉行は名之事院は多ななとはろしろろのるけ野なる

はているれかけるときではるりくれる事後とそれりよう するうろうとうというれいされる海運事をする ろうそのは はっているればからもでんりろう 每一位妻民之前了了人就吃了了爱你不多 ~ 又の多見らからとしてるるととうとう 奉うはると大事院は下梅あとり、立る万野な童と 出去了了了多里十二分的一人了不多也了得多 れる多年及い路野一樓あとき一意の年季 多物了了少少了多元年年了出生人也要侵比进路了 かしてまるとろうとなるのははないとろうとはからかし はるのままれてはるまはしてちらてそうけずれる

はるとえを院は船をととととってかれるとうて 一人のまる年多年でするからもりと後に例了をうし

河野家系圖 越有姓

終析數三女字 本國科豫

河野冶傳 治暑而以曆為東

毒林尼

明督三年丁酉正月十三百死茶節倉建長寺 港中- 正統養法籍妻 林院教室了馬大师

河野松安良山法印

河野良公太印 何野豐前守通喬 松菴通房 始勘在門 下野等院 通休 喜十品早世

河野豊前守通

此十日兵衛、正面

河野仙壽茂佐仰山東

カス

增扶五百名

河野心事

河野長九郎 藤棋大师

女子 伊勢平八即負望書

東

早世

河野松布法娘通久 女子 早世

サス 女子 サス 徒野與八郎妻 伊藤下總守書

とそぞろれるかりしくろろいるのちろりをき 南面信書,婚中安養寺商信他的行至是信任時 きてるとはあるかりましてからするとははあり 大国ときて何多の高一通面よるヤーーうををあるる 安をしておきなるのはんろうれってるとなが 標題なる お田乃本うかい清西居氏新院之南以来えるまっても回い 15-1も了るのうろんと歌ーあるでえるとしかと して強かとうとうとうなてけるとあるかららして

今といているかませりをあるとあるなまは他 かり、まちろういりいりれいらればなけれないで おしてしてははないとけくくけるはんないとう 子中のなりりくてはなとかちろうとうえめつてなって は何了他~~ するととればんとはの為は所行為 弘意一個的時後一一個名と核けなり るろうかしょうれしまくてはらと言せんととな 多量ところりは名にうて要例了写是——修り かしまのちょうはつんととりとしたとうとのるときる 好你です~好話な思るはるととなるなるのろう 打图之的~~ 茂列出ると会教は時初と多一ろい

大きるとうれり付るかとうれるはらうから あるというけるのないとうともちょうころうできるとうと あまるのとろとあるとうとうとうあいろう 至了我国的多年传史一多年年

大動きとけるといけるないはるないなっているというで 限利益—春福的路·号—与夏文本·己士丁子 又为去了这個人的人的人人的人的人 ナーインであっていてもかしくりとうころうとう 数国をないってくてまれまりまりからて

大教するるるとうろくのまでとなってりてきまるとてりてラススをう 生命と敬る月存るととのとうりますりそうなり

するでなってるとうるかを手をちたでするといろ ろうといるまではなるのるろうともできまして しるはたちははいちんとうくはなまというとそう そろの気のまりあかりなるとはそりはなってとうとうとう 事との何一一生のまでかりは又なるのか

高四百俵

武田叔安 傷部

ち見信任らる大事は財任重り次のと方所は成後 南国乃事の同的からえる国事教皇地名同时是国行行 利をして本心と新一又なるのかととのの例と

教有多代的行為多大多十五十一个人多的人的教徒了事作三百 表するるるのとしてとうましてというとうなくそうとすっとする 到年多名的人 别人行人不得的一大便的免 二百人不多人信息日日后各人人名格十年了七十十七 ちとろうちるないとうことのは一人をとうていかい はそういくいくろうつー 不多也了了的知的专行的一定要没是不是是是 こうましてくているからするとなりはこうさきめいちぬして 名りりろろろとのいるのとろろろんという意文を とるるかったってくしているとる事をありようかって 又信外路各信任务的智徒信息日存了了

えてたりるないちくるるる中はなけっているとうと 後任上村日と 多了まるの文をほうはよいなとうと えんとうとこうはいけるちのしまるかっちまれ すかかっ するというとうではするとしていますると うすとはるしてるをもりまるかきれるもろうな あるけってるかりりまするとうちくときな あいっようしてかるおうなさ をとうして

裏面るる何一ら他や年であたけるをならいないかと 又信任了老一一人死去年三十五城了一個信息中日 あってかるとりてているとうなるのをあるというなる

ナラまら又信任うかのなとはそうをは日下後とうちょう でり信令小里門をあらることであいむのとき多院は ろうりかはち里川る福らるを郷と年もらる 生了子了10年日初日子八春春後とろうなれる手を及 中かったっとくれとけっていまってくるくろう 何待感了多了作品人は限る部一多唐名年来 ママンして死女事的子引之意見,又怪我们会与 生しる事からて降し、中心三年をきまってるませ 宝安传像又生要度与沙と了的管一路的一个五年的 は後ととを考院于我大使とそろしなるとるあめ

そる名本作和としまで也を作うう

武田家系圖 数被覆 左巴 本國 安養

00信武 新羅三即表光後衛 八元田

刊爱考依林院 九別探題

因田分異同也 以放養高副級與甲門 九州之守禦好及左馬高紋 西田市 左馬 即 信組法田伊豆守

信賢 安藝國守護紫母原勘氣 信先

古田治事少輔 大藤太大 隆寧守

カテ伊豫國

武田徒三位 任伊豫園

盈河野

信卿 三世 女子 早世 女子 信成西田次即 信印由田叔安 敬信 出田文安 信孝郎勝九郎 信軍 西田道安法服 台 賣同姓敬信女 武田修理太大 任伊小園 古故 医高野山 以曆 為業馬 西田似安 長春茂法即 西田支州法眼 早世 杏仙長春茂 先父而死 信經由時中 信德西田寺 信任西西本着 林 電九左門 情知力 か上核人 果川流角毒 美食山 石谷助太郎妻 信後国田松朱宗安法眼号看山 信良武田縣事恭安道去 實在氏女 本春本居行 赤去 が改適各 子孫哈

境害院りえんいする元平性するかく考度回席る かかろうしろかけるちゃんてあせているのよう おしきるないなるないはみれてりころうと 200日中央人地文信方方了之外 風面住客 大宫里北番瓜了了人人们展了了一多路三般了 務とろとなるとろれまりるろうるのは中からい は一年中をあむというなとく成者としてんれい いるというというというというというとうかく

うるあとうろうり神をきるとろくろうとう 大献多出步行了了多人的野委们一大大多大的多万多人 そる時間といいはある古人文は書とれてきる 学児ようかなとく後くころれいろれる年を成るりますしよ 天本をあれるりまするなるろうでありしてくる まったり事何を知るようをうとれるなほとろう りはるときてんぼちられー はぬれるろう 小児であるなるなり名とちまましたりろう て持一度るとろうとは明られてきろうろろろ手はかまる

常言るれのはく体を帰るるとればちまり一方世後とそ

おりらえんごするとれるはななならとさるともし らいりませりそうちろろの他又方を使りはあるるととよ であらるならしころろはなるかからとなてしるは他 きなるとうれとろうとちなというし 18-1~全地区的免中多行地とうでを住了年五年

ちろれまかかるまるのとのとうともあるとうれるかってあるりくる はいいいいかとうろう きなとうじきまるとろうちりをみる ためーとうちょうはかめるとはそうちろとうので

塩家系圖

為例 三瓶子 本則常座

00直方本願寺合戰討死 福倉 改原備中守

唐宗元 法印

宗流宗说号京连院宗院的通信

宗民党卷

00 梅春香茶眼

源寺号 容源院春奈安法根

搞宗え

堪完え

自己中一年一年一年一年三元本里了 元禄四年三八月七九日号 法年實想完定山法官各士 見性茂自山る得

まの言うるちょういまなとうしるのるとうとうとう 大作を多うの地名からするかんでうりのあれるなる 多気がおよりはあるとしかのあいははるちゃりすっちつ ると書ところううとものはもあるをとれるのかでいし るるという多文もないろ初列を教を 回村的中央朝人後度事事打电离了了好好 の事るや多なのを子がく北陸をある文ののとまり 一人加利山西南北地樓在至安人的好了位了多了五年一年

そううてもありるの村を迎る文代をりるちろとしてん 日中人安極とそうのそるお極くなりい ろうしろといるはんとうなる事をかかるするなるとう

多一少多情でとうくと後 唐天行るとなり 会はる代もはくてかられるなるもの後とうくれは野のからをも うえまちりそろの村七成を保でするまでするりとは人 ~了田村喜狗又安班了的智的地——一人人称三年一多千 安极小生的是往了一一三万年中夜中了了图——山多人情况 なりくめてもまるあのる きをしましてるころ らってはまってくろうとうころうまるまするいますようとをもう な田はちいとろうとうまるととれぞれらいろんと

坂上姓 本國相模

後漢正正帝後的 。 田村長菜 由村安施長傳了 由村手兵衛直吉 五皇古在左左門直住祖 田村华梅長随一安梅長者 芝原形八 早世 第二 由持有前 三百侯傅室門長章祖 一田村助太節長衛 四百年的太天長七祖

田村安極——田村安極——田村安極 三百三十四根 田村安極長好

高二百俵

元山島等の多地区山野を活ちんは柳巻用北西省と

を使うけってもくもりとしてとうとうとうとうとうなってはいるとうれては そうけららる人又はまとれるときのかうかぞう 東地震なるとうれたろうのかなんとうるかとするかけてている 日本年七代でりりんるとの中感色了多くは名見慢尾 死者——安中感到学生是一次多多事的隐传者的传统 はいりかしてきたりしからてろうけいまちのうるるとうと

ようなさながら

しているうとうろうこりけのまえいるうくとをするそうから ナーチンスちろうけるのとろのとうのとうころうくろり

本有了過少一百分的茶一也多知一日年十一十一日 者有多る得足してくらま」也多数一支福子年はまかせ ゆうともくうれまってのないとうまるとろうとう うらうを文とうからからきときてこの後とうのとう 金元というとめてるのはる中参か十八大大人をあしてる そうそう てるけいるのは人を言るみっとうくなろう 李你三百依公孙一心无不不不安于一个不不可要的你有 小多行便有了人人的方式是一多人多人一年一日的大大大 は形を到するれている

はる本をできるとうとうとうとことろうとうちはない をはくしはある」をはしくろうとしろうちのきるするする なのとうなとうなりしまするのであるからない 不多一子子行己多物力年本り行之文学者 いるは他のではあるまれくろうようなとというるるとしろ まるサーマー きじいりしてるろうれるー 成るまるがならし アナナンとるなるとろうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとう

高月俸十五大扶持

田澤玄兆 美徒

国はあれてるいろかりしても列をのははある

るとうろうなる~しなると変要者でとろうしょう そろのははないかるようと又く動れるからのである 男人子はちしなく田られきいろうりのは後き 考通り回るとよろしと数年 多多年等于了

を使るるるとれるというとうというというというというというという 事的できるなるとうとうとうではいうしかという 又尽事了人一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一 時高清季にはらるとととところの日はまる かられららるままかりいるるからるこう年 はそれ

高しているからとはるころのととうしまするること は大小なとりてなの別方は、日本のことをは大事 すっとをありまするからするできないよう

らのをくてる経生を下をなけらうとうとう あるいとうしますというとうというないというとうないとうないとうないとう 家有多多湯見しまではまってからて及言之事は平すりてきく アカーラー しょうまでる 世紀せんれーうねる 湯とうなるとなると好えで馬するんとからちゃです 多年れなりてかったいままらはのほろうろう はまうかの第二万後十日とうの後一一の意思を行うからえる春年

まるなるろうとうとうとうしょうなるとうとあしれるかって 京中を午を大かりよう

文明了代明了各一人人人人人人人人一人一人一人一人一人一人一人一人 店者事後等的を育としてまるるのはまるのよう人 はかけるとしてはのあるはってきまっているできるという 言場は平年からてものをひるては男してるのは 李伯的智必然同位十人 四至少第一一一多孩子 をなっちゅうとうくりゃりまをとれるりょうようなませりり そうちまるなけんとうとんちもうは名神心後は海は とろうしりかの年をあかからるではりしまれてきるまれ 冬元了了了了人生人的人生的人的人的人的人生多的地

ときてくる国际子とりかの年をありたらしてらる むとろうまするとすれまましてくりや 中の名かとはさくりなけるひとうゆきしいまは他まるまであって

Kitasato Memorial Medical Library

高三百俵

高三百俵

出る方面の本本を見しまり

天正十三年二月 はありかけるのからしても回答かろう「関めれるかられる 流 ちるのなとおとてな中将の方では多大便の大はぬるたり 一方路子して如産でとろってころの元中粉を伸出るのい

事金官はあるののがにけら使とろうをもるかとるをきと

そうれーらいまるとかるようとうないとうないとうか なる神でよくてきはは田のいるの神にしていると おうりしてきをあけるまちのようなるなるではん 朝後もとう後後到河中的る打しまくを使用る村は成る 古色大行小人属于老品之是由那小到一女师多列入图 そうちろうちめるべきありるそる年をななります いれよいるあるいかできるよろもうるありきるから 天王十年はから成れのかというとうとうとうれいない うて勢到的多了湯をうちをは利安して名と枝唇と りいる七十分年度長くるかな神るとれた人のある人が できるいろれいい 一日のからないのからない

来の言ないれるなりしかれいり手をからのまとして らんとうできるいとうれてするからできてきして 物のあるうされ又生を被後は因う多くなどり物ときな 逐机的孩子,你因不是一年的了事的一个人的是人 都んあとも人は田子西主夜らあいろうそのい田たぬれ そののかるいを枝なることはいことをそんだとう いくりらは日本丁麦ナーとともませてきり そのとのたるれるもししいのかかるととなるとなる ちなくろうはるのとうとうしているのできるからする はるるのではあるとうかとしているとういうかいるよ人りう ちることなりなる年でするいかかかっちるよおれかかりり

本教有文古名创了个人在了女的也写了之间的行例也的了个 あるーとあるかろううけれるありてをかと うつかりみなりをなせしらってきるける りるしてるというとうとうというと 之を休田みりているの名手まちかけいたし ちはようとうろれいりするうるりときのよめてもろ おめないとうりを手てるなりりてるあれる神利もろ 名とみられられていれるけれてあってあるとう るときするなからから さてるなるはいかちをしららけるする知をはの五りし るいかてて きーととがちまらなしてよろうなて

佐田町主きいまくといる人を手甲をきるりちゅうとけれるる 万度は多切り了けるなる きいいとまられ でそちょう は私山正をするちはるる峰高川ときこととう 大便くていりまりまるせいとうとてるをでうしるでは 朝もうちきからはなるままは多いまするとう る他はあったっくうくうるるするときっちつはから の傷を針ろうにいりままてってるまなどのちとうされ 村をうくてくりますくりまてくしまるとうとうとうちゃ とうちきもとといれら例をいるからう ゆけるとうるとうとは事からいちにちている てけているはんりしょうはばるすっれりとろう

又ありりはないとうとうときときちゃらっているかまなとるな を手なりるのといるとうけのいしてしますけんとうりかるは ナーチリカーかられけの一番のいとろうロシーとかまる 竹里的思り季十三万七二八五八世八五百之至山屋 一日時見まるあるはりろうと手をまるをとうる は明了都中了了一名村は田田中程の古れる行人的 夏子でも一日日 世天市るろり年一十五万 少まはなとろうとううとろう いくとはかくにいりまするとうできたかられ

かんといるます

高三百俵 佐田王春 道弘

まするようでくれるしまる 後えーをならるにとしてれ おうろううきゃしてもらうしてはあるるときって 佐田五川之をうるりは因るるとりあるよう のけらぬるにしてろうとえんできてきるナライヤイののはるなるとう 了るのれは一日をする本ろとはる中室を海差をデレ を列あるは、近宝七年でままりそう 又出来是一一一一一一年一年季天在到五七十八十 けあるとろうりりりてるするこうからうれるとうとの 経しまけるとの生を民間を成代

Kitasato Memorial Medical Library

のはなるとかりずくとのはなからできれらう

意刻 宿見しててりて手」もすると又はあるるは 三多子を奏うては名表心院は明務成文を使ときした とうるるするようようようかのととなるとうなって よるはあるたろろろとってをするでするっとって 三万多とろうてはからあるとうりて手」もでりるとなる はとは手行之方信とおぼしる例とひるを要の愛によ ちちょうとなってはるるを侵轍る人のかりできたます あるとかまるとうとを持ち手あるとうころとうとう られるの後をとろうしを言るえる中はようからは路上で なっていりらのはいる一あ年まりょうまではないようなも ときはんとろうとかいるますってるとろ

村上降代

00 夏美

一满 於北昌在時 討死

文明三年三月三十日農年四十九 馬表海鄉之三字

教具 馬表教外之子

城王國王家改多

常殿和歌故多考逸歌

及 正田を下 古中特

古中將 賜義政鄉之一字

永正五年戊辰出家同十月一元家傅弓馬和歌道有其令聖言

親與

嗣大河内家 た中 た中野

又定具 具鄉

佐田丹後守

從四位下

势仍三东二十六师 爱 天文年 寺已三月五日致仕 佐田丹後守 西部少輔 同年六月子百平年五一成法是長德院原山節心

定次

我高林親母 元 見元年 奏于五月九日於勢列中島後討死 仇田城王後教徒田城下岩出 五十四号松當院一花養法 佐田江左西門 寛永七年 在十六月七百於勢州而卒 二十九一成号宗秀院法岳帝或省一女子

指生氏 本

る果物を病毒

南田甚太孝

势川蔣野城王 河原教中 改休田 仇男三郎 水谷花兵衛 水谷添在門 佐田吾屋門 化谷喜克丽

正远 大鄉言

義材鄉一京平正八年出於 同年五月死年甲四 長三年三百七月八日馬

親忠高大河内城主

大水二年出家

精製

参議 弓馬達者

永禄六年三月出家法名天社 同年五月十七日夢年六十八 永正十五年戊玄赐、我明之一字

佐田丹後守主時家

頼房 中納言 遠江子 六部大師

田克右中的 舜正少局

势则田光城主

孝禄八年九日於而三吏 平年七十七次名就成院片本常清海朱在中的致仕号如爱 天正十八年 秋兴直昌郑 與州 海水禄八年九日九月七日叙任正四位在次中将 日十二年十分土月三日 安美在下回土年 三十四月五日 叙任正四位在次中将 日十二年十分土月三日 天久十五年 西午土月三日 叙任正四位在次中将 日十二年十分土月三日 大久十五年 西午土月三日 叙任正四位在次中将 日十二年 一次上月三日

号東門院

直昌 田九中勢太輔 柳爱須彈云少湖口 事北自中納言具教女天平八年七月四死二十七前 再妻 蒲生氏鄉

慶長十五年 產收三月七日頓死年六十七

法名大 岩院本 寒心空

阿古方 為豊臣秀顏侍女

御家所 於勢州而卒

来 右近太天 天正十八年產實於與外討死

号休田

保加賀利常住于加州正保 見色序八 お北名日子教か

号高成惠史良知

女子 天野快左門事 為阿古方差良女

慶長三年奏息三月九日死 号柱昌克心月春元

有一個三年で西九月首見にひと 年子 早 高月茂花学天都 田九左京

田王書 右工門 たこ門

> 正長田先兵部 湖應三年甲午六月六日於江戸平年 六十号長享说華材宗傅

直京 田先納部 直久 毘宝殿

夏文九年三西九月七日死年四十六号 宋德茂天叔紹進

女子 安見年級妻 号,自光度,祥宝理貞大好

女子 今枝依在門事 夏水十五年改真三月七是九州而没年三十二 号、善先院蘭微言春大将

1月 村神生氏婦女 号雜卷宗伊 息事中中八月明日於戸汝和州 和廣墊長 国先王膳 号誰着

定里 #其白女

休田立左門 其左門 号五川

元和五年元未正月三十五生于野外齊言

為佐田江左門之次子

每里六年以午四月六日死年六十三

前法服王省宗川屋士

七郎共衛

一直家 巴克湖部

兄兵部正長養子

實等

佐田王縁法服

本子小村市一市正時事一 育字三年 西京八月九日茂

儋里川通昆

本有ス気や夫島女

實文四年甲灰五月六四生

佐田倍川 元禄六年 元年元月三百死年二五五

佐田王禄法根

放 石土 好母要再後

快田王洲縣翁

妻小尾意大夫在長女

佐田玉川

仇田養逸

佐田王寺



